

**Su.C雄物川店**  
**惣菜部門新メニュー開発について**

## ■ アジェンダ

---

- ・ 活動の目的と概要の説明（5分程度）
- ・ 課題の共有（5分程度）
- ・ 想定スケジュールの共有（5分程度）
- ・ 候補案の説明（15分程度）
- ・ 話し合い（25分程度）
- ・ 今後について（5分程度）

## ■ 目的と概要

---

### 【目的】

集客力向上の為、Su.C雄物川店「名産品」商品開発を試みる。

### 【概要】

- ・ 独自性を出しやすい「総菜部門」にて商品開発を始動する。
- ・ プロジェクトメンバーはフード部門の中堅メンバーを選出。

### 【目標】

『お弁当・お惣菜大賞2024』にノミネートする。

※2023年9月30日までに商品販売実績を作る必要がある為、最低でも9月1日には販売開始出来ていること。

## ■ 課題

---

### 【課題①】

75期のアクションプランである「食品荒利益率20%確保」を考慮しながらの活動となる。  
その為、チャレンジ性が低く保守的な商品の仕上がりになる可能性も否定出来ない。

### 【課題②】

メンバー間の連携と部門毎の協力体制が整うかが課題。  
定期打合せや報告の実施方法など、事前に取り決めが必要。

### 【課題③】

審査基準にマッチした商品を開発する必要がある。

※以下は『お弁当・お惣菜大賞2023』のエントリー基準。

- ①おいしさ ②テーマまたはコンセプト ③原材料へのこだわり  
④調理法や味付け ⑤見た目へのこだわり ⑥オリジナリティ ⑦値ごろ感

## ■ 想定スケジュール

---

### 【想定スケジュール】

- 4月 Su.C雄物川の全従業員を対象にアンケート実施して商品案を募集する。 →13枚回収
- 5月 アンケート集計後、候補を絞る。  
惣菜部門にて候補の商品案が実現可能か検証する。  
→値入や工数などに考慮して検証。候補3品を選定済み。
- 6月 候補に挙がった案をメンバー間で審議する。  
議論の場が出た案も含め、最終候補を選定する。  
余裕があれば試作してみる。
- 7月 試食会のスケジュールを組む。  
試食者の意見を取り入れて試作を繰り返す。
- 8月 7月同様、試食と試作を繰り返して最終決定する。
- 9月 上旬には販売開始出来るような体制にする。  
9月中にコンテストにエントリーする。

## ■ 候補案① 【鶏肉の横手味噌焼き】

### 【概要】

以前やっていた「鶏肉の西京焼き」を復活。  
使用する味噌を横手企業の味噌にする。

### 【地元食材の使用】

横手企業である(名)内藤醤油店さんの味噌を使用。



## ■ 候補案② 【田園ハムカツ弁当】

### 【概要】

田園ハムを使用しての「ハムカツ弁当」を考案。

### 【地元食材の使用】

横手企業である(株)田園さんのハムを使用。  
名称使用の許可取りが必要。



## ■ 候補案③ 【おにぎり】

### 【概要】

おにぎり2個セットを1パッケージとして、  
地元の食材を使用したおにぎり+定番商品を想定。

例) ばっけ味噌おにぎり&鮭おにぎり

### 【地元食材の使用】

秋田の特徴をとらえた食材を検討中。





# ■ memo

---